## 平成26年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立野崎西小学校 校長名 小中 弘彦 作成日 平成26年 4月25日

## 学校教育目標

自ら学ぶ意欲と強い信念を持ち、社会の変化に対応して たくましく生きる心豊かな児童の育成に努める。

地域を愛し、地域を大切にする 子

自他の人権を大切にし、思いや りとやさしさのある子

自ら課題を持ち、自ら考えよ うとする子

## 開かれた学校



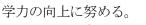
ゆたかな心





- ・保護者や地域へ積極的に情報 発信を行う。
- ・地域の教育資源や人材を生か した学校教育活動を行う。
- ・学校教育活動全体を通して、 道徳教育の充実を図り、生命や 人権を大切にした教育に取組
- 特別支援教育を大切にし、一 人一人を大切にする教育を進め る。
- ・学年、季節に合わせた様々な 体験的な活動を多く取り入れ、 心豊かな子どもを育てる。
- ・組織を大切にして全職員で全 児童を育てる。

確かな学力



・一人一人を大切にし、子ども が主体的に取組む授業を目指 す。

・ 基礎基本の習得を図り、 基礎

・保護者と連携を取り、正しい 学習習慣を身に付けさせる。

 $\mathcal{O}$ 重 点 目 標

本

年 度

- ・ホームページを定期的に更新 したり、「学校便り」を保護者 や地域の方に配布したり、学校 の情報発信に努める。
- ・地域や関係機関の教育力を生 かすためにゲストティーチャ ーのリストを作成し、学校教育 に参加をしてもらう。
- ・公民館と連携して、作品展を 開催する。
- ・公園の清掃を地域自治会と連 携して行う。
- ・和歌山大学から学習ボランテ ィアを要請し、体力向上や特別 支援教育に活用する。
- ・学校開放月間での取組を広く 広報し、一人でも多くの保護者 や地域の方々に学校での活動 を見てもらい、学校への意見を 頂けるようにする。

- ・学年に応じた道徳教育の資料 の活用を行い、体験活動と道徳 の時間を計画的、発展的に行う。
- ・社会、理科、総合的な学習、 生活科で学年に応じた体験活動 を取り入れ、体験活動を通じて、 協力することや思いやりの心を 育てる。
- ・児童会活動を中心に地域公園 の清掃やボランティア活動に取 組む。
- ・ 運動場の芝生が枯れている所 が増えてきたので、新たに芝生 を植えることで子どもたちが運 動場で遊ぶ機会を増やし、体力 と豊かな心を育てる。
- ・教職員27人が子どもに豊か な心を育てるために組織的に取 組み、全職員で全児童を育てる 学校運営を定着させる。

- ・若い教員が多いので、ミドルリーダー を中心にし、学年やブロックの組織で育 てると共に校長や教頭も参加し積極的に 授業を通した研修を行う。
- ・算数主任、国語主任を学力アップ担当 とし、基礎学力定着のための資料を作成
- ・基礎学力の定着を図るために毎日の「昼 学」を計画的に運用し、有効に活用する。 学力テストの過去問題や算数教材 「kangae・ra」を積極的に活用する。
- ・全職員が授業を通した研修を行い、常 に授業を通した話し合いができる機会を
- ・現職教育等の機会をとらえて、子ども の学力の実態を把握し、全教職員が共通 理解した上で学力向上に取組む。
- ・長期休業中を活用して全学級で基礎・ 基本の定着していない児童に補習を行
- ・基本的生活習慣の定着を図るために保 護者に早寝早起き朝ごはんの啓発を行

目 標 達

成 に 向 け た 具 体

的

方

策